

Hirosaki Gakuin University

弘前学院大学 看護学部看護学科

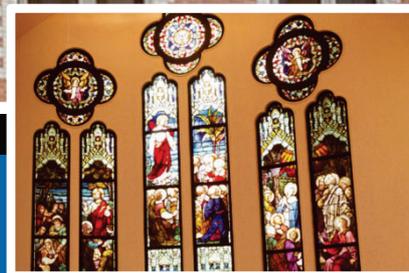
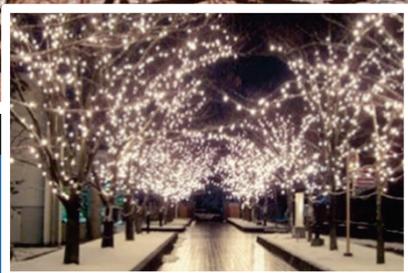


2024年度

出張講義一覧

・教員紹介

お気軽に出張
講義にお申し
込みください。



もくじ



出張講義一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.1~2

看護学部看護学科教員紹介

【基礎医学系】

田中 真実 (学科長、教授) p.3
宇田 宗弘 (准教授) p.4
三浦 雅史 (准教授) p.5

【基礎看護学】

幸山 靖子 (准教授) p.6
阿部 智美 (准教授) p.7
村上 翔太郎 (助手) p.20

【成人看護学】

土屋 陽子 (教授) p.8
井澤 美樹子 (准教授) p.9
村岡 祐介 (助教) p.18

【老年看護学】

佐藤 厚子 (教授) p.10
小野 綾 (講師) p.11

【小児看護学】

齊藤 史恵 (講師) p.12
木田 優子 (助教) p.19

【母性看護学】

大瀬 富士子 (教授) p.13

【精神看護学】

菅原 大輔 (准教授) p.14
高橋 義孝 (助教) p.18

【公衆衛生看護学】

日下 純子 (教授) p.15
中尾 八重子 (教授) p.16

【在宅看護学】

高田 まり子 (学部長、教授) p.17
對馬 明美 (助教) p.19

出張講義のお申し込み・お問い合わせ先

弘前学院大学 〒036-8577 青森県弘前市稔町13-1

公開講座委員会（出張講義依頼に関すること） ・ アドミッションセンター（入試に関すること）

TEL 0172-34-5211（代） FAX 0172-32-8768

E-mail : koukai@hirogaku-u.ac.jp

- * ご希望の講師・テーマ・日時・場所（会場）等をうかがった後、本学の「公開講座委員会」において、派遣を正式に決定いたします。
- * 本学の行事日程などによって、ご希望に添えないこともあります。ご了承くださいますようお願い申し上げます。
- * 講師料は無料です。講師の交通費も不要です。

出張講義一覧



無償で出張講義を行います。ぜひお気軽にお申込みください。
(職位が講師以上の教員が出張致します。)

領域	教員氏名	テーマ	概要
基礎医学系	田中 真実 (学科長、教授)	ウイルスを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスとインフルエンザウイルスの構造、感染及び増殖 ・石鹸でウイルスと戦う ・ウイルスのワクチンについて 上記内容をスライド及びアニメーションを用いて解説します。
	宇田 宗弘 (准教授)	ヒトの身体のはたらきについて考えてみよう	日常生活における身体のはたらきについて、主に生物学の知識をもとにしてみなさんと一緒に考えます。
		どうしてトレーニングすると筋肉が増えたり、長い距離を速く走れるようになるのか？	トレーニングのしくみについて主に生物学の知識をもとにしてみなさんと一緒に考えながら解説します。
	三浦 雅史 (准教授)	介護予防は健康寿命を延伸できる	適度な運動を定期的実施することで健康寿命を延伸し、充実した老後を過ごせるかもしれません。 我々の研究グループでは、実際に20年もの間、介護予防を目的とした運動を継続し、大きな成果を挙げています。
基礎看護学	幸山 靖子 (准教授)	What is Nursing	「看護」について、一緒に考えながらお話ししていきます。
		自分の身体を観察してみよう-循環器-	一緒に脈拍測定をおこないながら、自分の身体を観察してみませんか。
	阿部 智美 (准教授)	看護場面でのコミュニケーション	看護の役割や機能を紹介しながら、患者、家族、医療チームでのコミュニケーションについてお話しします。
成人看護学	土屋 陽子 (教授)	看護のやりがいはどこにあるのでしょうか？	「看護のやりがい。看護師としての生き甲斐」について、これまでの経験を振り返って、これから看護職に進みたいと思っている皆さんにお伝えできたらと思います。
	井澤 美樹子 (准教授)	病いととともに生きる人の看護	治癒しない慢性の病いととともに生きる人の看護について深く考えます。目の前の人は患者ではないのです。
		心のつぶやきを知って気持ちを楽しみましょう！	人間の感情を創る心をつぶやきを変えると、嫌な気持ちが少し楽になります。体験を通して学びましょう。

領域	教員氏名	テーマ	概要
老年看護学	佐藤 厚子 (教授)	シンデレラ姫は美を保てたか	皆さんの日常で大切なものは何でしょう。シンデレラ姫の物語を題材にして「今」「将来」にわたって大切な健康について考えましょう。
	小野 綾 (講師)	認知症の世界を知る	実際に認知症になった人の語りを通し、認知症を抱える方が感じている事や体験している事を考えてみましょう。
小児看護学	齊藤 史恵 (講師)	病気の子どもを笑顔に ～小児看護と遊び～	子どもにとっての遊びの重要性を理解し、臨床場面においての遊びをとり入れた看護について学んでいきます。
母性看護学	大瀬 富士子 (教授)	プレコンセプションヘルス	より健康に赤ちゃんを産み育てるためにできることをお伝えします。
		生命・尊厳の尊重	生命倫理について考えてみませんか。主に赤ちゃんを産み育てることに関連した多くの倫理的課題をお伝えします。
精神看護学	菅原 大輔 (准教授)	心の健康について	高校生が罹患しやすい精神疾患について説明します。(統合失調症、依存症、うつ病、摂食障害など)
公衆衛生看護学	日下 純子 (教授)	公衆衛生看護の歴史～今日の課題	<ul style="list-style-type: none"> 日本の公衆衛生看護のはじまり 学校における健康と養護教諭の歴史的変遷 日本のナイチンゲール瓜生イワについて等々についてお話しします。
	中尾 八重子 (教授)	看護職に求められる能力	看護(職)は、社会にとって必要かつ重要な職業です。が、残念ながら多くの人には看護の仕事の一部しか理解されていないように思います。これから進路を決める皆さんに看護職の種類とその資格を得るための方法、それぞれの役割・機能とそれを果たすために必要な能力、およびそのために高校生時代にしておいた方がいいことを話します。
		地域包括ケア(システム)とは	日本は超高齢社会となり、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。これは全国民の課題でもありますので、その背景や考え方、具現化のために必要なこと等を説明します。
在宅看護学	高田 まり子 (学部長、教授)	病院から自宅(在宅)へつなげる看護	人工呼吸器をつけて入院生活を続けている患児が自宅療養を実現するための事例から、看護師の役割を学びましょう。

教員紹介



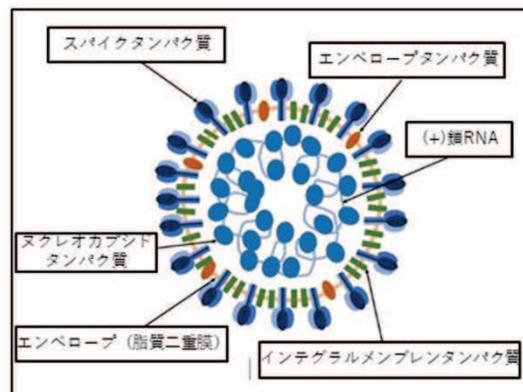
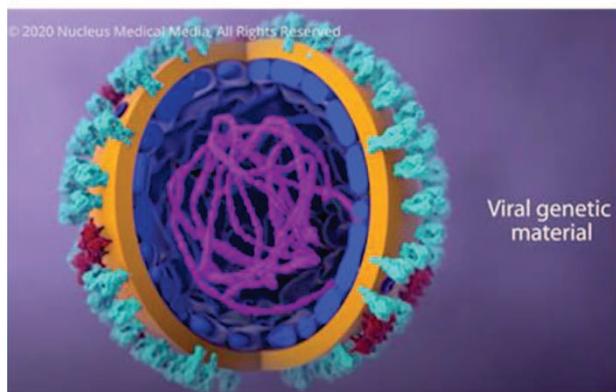
田中 真実 TANAKA MAKOTO (教授) 医学博士

【担当科目】 人体の構造、医療英語、生命の科学、老化と生体、ヘルスサイエンス論、卒業研究など

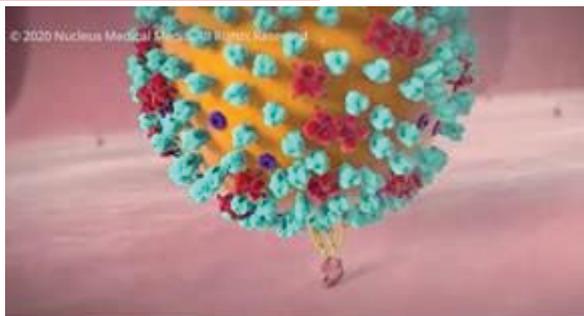
【主な研究テーマ】 冠攣縮性狭心症患者由来 iPS 細胞を用いた病態の解明

新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスを知ろう

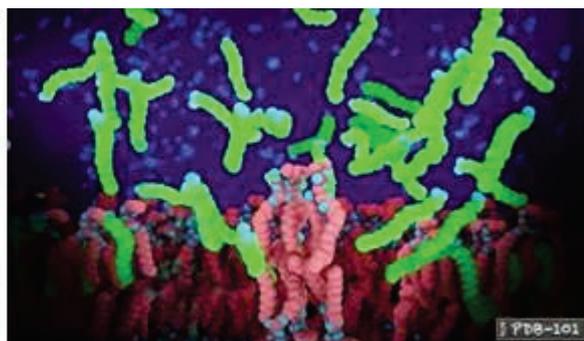
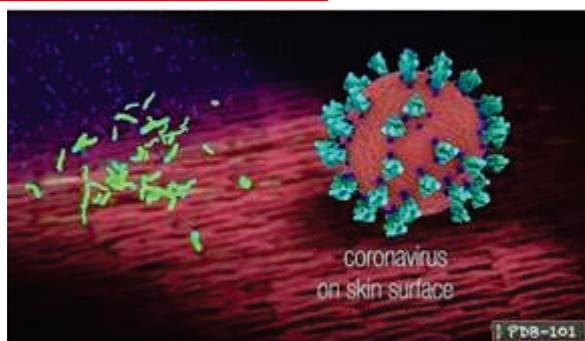
・ウイルスの構造



・ウイルスの感染と増殖



・石鹸でウイルスと戦う



・ワクチンについて

上記内容を、スライド及びアニメーションを用いて解説します。

【高校生へのメッセージ】 頑張って、自分の道を切り拓こう。

宇田 宗弘 (うだ むねひろ) Munehiro Uda (准教授) 博士(スポーツ科学)

担当科目: 人体の機能 I・II、ヘルスアセスメント、生物学、基礎演習、卒業研究

研究テーマ: 不使用によって生じる筋萎縮のメカニズムの解明

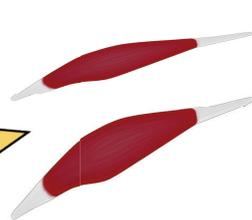
不使用でも細くなりにくい筋肉の仕組みの解明

【高校生へのメッセージ】

看護学部では看護とともに、病気とその治療法、薬の作用と副作用についても勉強します。病気や薬の作用、また看護の技術や方法を理解するためには、ヒトの身体についての知識が必要不可欠です。看護師を志す生徒の皆様は、高校レベルの「生物」や「保健体育」をしっかりと勉強して、大学で勉強する準備をしておきましょう。また日常生活における自分の身体の変化(例えば、どうして走ると呼吸がはやく、また深くなるのか?など)について考えて、「生物」や「保健体育」で勉強した知識で説明できるようになっておくと、さらに大学の授業にスムーズに入っていけるでしょう。

【研究紹介】

日常生活における身体活動量の低下、入院したときのベッド上での安静、骨折した時に行うキプス固定など、筋肉は使用しなければ痩せ細ります(筋萎縮(きんいしゆく)といいます)。不使用によって生じる筋萎縮は筋肉の種類によってその程度が異なり、筋収縮速度が遅い遅筋は萎縮しやすく、筋収縮速度が速い速筋は萎縮しにくい性質があります。したがって、速筋の萎縮しにくいメカニズム(仕組み)が分かれば、そのメカニズムを利用して、筋萎縮の予防や治療方法(例えばリハビリテーションの方法や薬など)を開発できる可能性があります。現在、速筋の萎縮しにくいメカニズムを解明するために、研究を行っています。



遅筋は萎縮しやすい

速筋は萎縮しにくい

WHY?



1. Uda M et al. (2024). Effects of hindlimb unloading on the mevalonate and mechanistic target of rapamycin complex 1 signaling pathways in a fast-twitch muscle in rats. *Physiological reports*, 12(5), e15969. <https://doi.org/10.14814/phy2.15969>
2. 宇田宗弘、不使用でも細くなりにくい筋肉の仕組みの解明、弘学時報、2023年12月27日、https://www.hirogaku-u.ac.jp/pdf/r_93.pdf

The images of 「骨折治療を受ける患者」 and 「骨格筋と腱」 are from TogoTV. (© 2016 DBCLS TogoTV, CC-BY-4.0, <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

三浦 雅史
(みうらまさし MIURA MASASHI)

准教授 博士(医学)、理学療法士

【担当科目】

公衆衛生学、疫学、保健統計学、卒業研究など

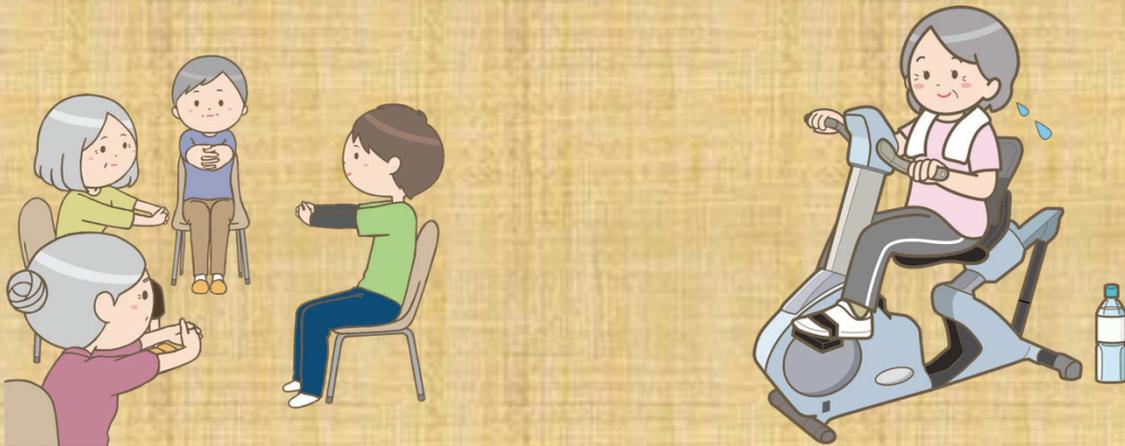
【研究テーマ】

介護予防は健康寿命を延伸できる

平均寿命と健康寿命は違います！折角、長生きしても日常生活に制限があり、介護を要する期間が長くては幸せな老後とは言えないかもしれません。

そこで、適度な運動を定期的の実施することで健康寿命を延伸し、結果的に充実した老後を過ごせるかもしれません。

我々の研究グループでは、実際に20年もの間、介護予防を目的とした運動を継続し、大きな成果を挙げています。



【高校生の皆さんへ】

かけがえのない4年間を本学で学んでみませんか！

幸山 靖子 (こうやま やすこ, KOYAMA YASUKO)

准教授 看護師 看護学修士

【担当科目】

看護学概論, 基礎看護技術論, 基礎看護技術演習 I, 基礎看護技術演習 II
基礎看護技術演習 III, 看護過程論, ヘルスアセスメント, 基礎看護学実習 I
基礎看護学実習 II, 看護統合実習, 卒業研究

【基礎看護学では、どんなことを学びますか？】

看護は実践の科学です。講義と演習での学びを、実習での経験をとおして体得していきます。

「基礎看護学」では、看護に対する考え方や知識、看護技術の基本を講義・演習をとおして修得します。そして臨地実習で対象者のニーズに応え、日常生活での援助を行う力を身につけます。

1 年生前期に看護の本質となる看護学概論や看護の基本となる援助技術、全身を観察する技術などを学びます。後期には、食・清潔・排泄など日常生活の援助技術や、身体の仕組みと動きをアセスメントにつなげるヘルスアセスメントを学びます。そして、1 年生の終わりに「基礎看護学実習 I」、看護活動の場で、看護の対象である患者に必要な日常生活の援助を実践するための基礎的能力を養います。



2 年生では、事例を基にした看護の展開方法や採血、点滴静脈内注射などの技術を演習で学びます。そして、「基礎看護学実習 II」で初めて患者さんを受け持ち、実践をとおして看護を学びます。



【研究テーマ】

看護教育に関すること(授業、演習、実習の教授方法)
臨床実習教育における看護教員の指導方法について
看護師の継続教育に関すること
看護過程, 看護診断に関すること

【高校生へのメッセージ】

「看護学」を学ぶことを通して、“自分であるとはどういうことか”
“人と関わることとはどういうことか”について一緒に考えてみませんか。

阿部 智美(あべ ともみ ABE TOMOMI) 歯学博士

【担当科目】基礎看護技術論 基礎看護技術演習ⅠⅡⅢ 基礎看護学実習ⅠⅡなど

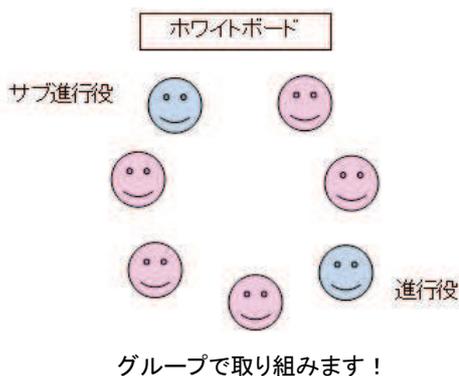
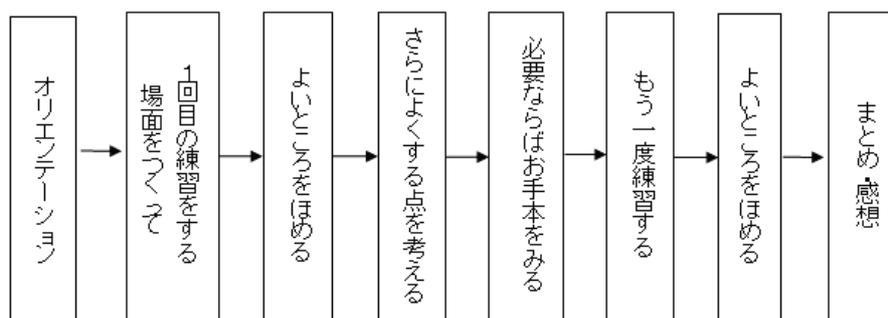
【研究テーマ】看護場面のコミュニケーション

【研究紹介】ソーシャルスキルトレーニングの技法を用いた看護学生の
コミュニケーショントレーニング



看護学生は患者さんとのコミュニケーション場面で、悩むことがあります(どのように答えたらよいかなど)。そのような時のために、ソーシャルスキルトレーニング(基本訓練モデル)の技法を用いたコミュニケーショントレーニングを考えました。

コミュニケーショントレーニングの進め方



参加した看護学生の感想のまとめ

- ・悩みを分かち合えた
- ・患者さんの気持ちになれた
- ・非言語的コミュニケーションが学べた
- ・いろいろな対応方法が学べた
- ・自信につながった
- ・次の実習に活かしたい など

JSPS 科研費 JP18K10206

【高校生へのメッセージ】

一歩ずつ積み重ねながら、
一緒に学んでいきましょう。



土屋 陽子(TSUCHIYA YOKO)

教授(成人看護学慢性期看護担当)



- 担当科目:成人看護学概論、成人看護学(慢性期看護学)、緩和ケア論、成人看護学実習他
- 研究テーマ:合併症をもつ糖尿病患者への看護支援他
- 高校生へのメッセージ:
看護の仕事をするには一生学び続ける姿勢が大事です。
一緒に楽しく学んで、自分自身で持っている看護の芽を大きく育てましょう!

臨床経験7年余り、さらには大学教員をしている40年弱もずっと、少しずつ継続して慢性疾患をもつ患者様とご家族への直接的な支援をしてきました。大学・大学院の教員としては慢性看護学専門に教育活動をしてきましたし、研究としては慢性疾患をもつ患者様が、その人らしい生活を構築できるようにするには、看護としてどうかかわっていったらよいかを、臨床の看護職の方々と一緒に模索してきました。

そろそろキャリアとして看護の集大成の時期に入っていると思いますので、慢性の病いをもつ患者さま、ご家族の皆様への直接的なケア(支援)のできる場所を作って運営するという夢の実現に向けて心の準備もしながら、これまで体験、実感してきた看護のやりがいをいろいろな場面で皆様にお伝えしたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

【担当科目】 成人看護学 I 成人看護実習 I リハビリテーション論 卒業研究など

【主な研究テーマ】 1.病いとともに生きる人の看護 2.心の健康と認知変容

1. 病いとともに生きる人の看護

仕事をしながらインスリン注射を打つなんて、無理だ。仕事人間として失格だ。。

目の前のAさんをどのような存在として捉えるかによって看護は大きく違ってしまふ。。。Aさんは、患者ではないのだ！！

Aさんは、患者役割として医療者に従うだけの人ではない。生活体験と感情を含む個人史を持ち、自分のことを自分で決める力をもつ生活者なんだ！

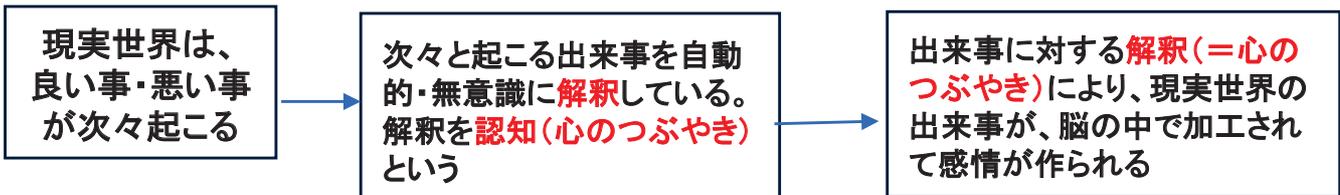
看護はどうあれば良いか？

2型糖尿病と診断された50歳の会社員Aさん。1日3回のインスリン注射が必要。

慢性疾患という治癒しない疾患のある人が、豊かな存在であるために看護はどうあれば良いのか。目の前の人、患者ではないのです。このように、看護学はもちろん、哲学、文化人類学そして心理学などの視点から深く考えることで、看護が見えてきます。

2. 研究テーマ「心のつぶやきを変えて、気分を穏やかに健康な生活を

①人間の感情や気分はどのように作られるの？



②出来事の解釈(=心のつぶやき)には人それぞれ癖がある！

全か無か思考	物事を白か黒かで考える癖
過少評価	自分の失敗を過大に考える癖

③心のつぶやきの癖に気づき、ステップを踏んで修正することで気分が変わる！

- ステップ1 自分を動揺させる出来事の特定制(同定)
- ステップ2 否定的な感情チェック
- ステップ3 こころのつぶやきを見つける
- ステップ4 こころのつぶやきの癖をチェック
- ステップ5 バランスのとれたつぶやきに変えてみる
- ステップ6 感情のチェック
- ステップ7 できそうな事を決めて試してみる



佐藤 厚子 Satoh Atsuko
(さとう あつこ)
医学博士・教授

＜主な担当科目＞
老年看護学

皆さんの今の生活が将来につながります。
生涯にわたる健康を一緒に楽しく考えましょう!!

転倒予防スリッパの開発

日本では高齢者の年間転倒率は10～30%です。転倒は骨折と死亡の重要な原因です。高齢者の転倒の原因の1つは、加齢により前脛骨筋(つま先を上げる筋肉)の筋力が低下することです。私たちは鉛ビーズ(400 g)を足背上に置いた転倒予防スリッパを開発しました。

12か月後、スリッパでトレーニングしたグループはバランステストの点数(バーグバランスとPOMAスコア)が大幅に改善しました。転倒者も大きく減少しました。(Satoh A., et al: Geriatric Orthopaedic Surgery & Rehabilitation, 2021.)

1日10分 履くだけ!!

転倒予防効果が明らかに!

転倒予防スリッパ



転倒予防スリッパは、大きなスペースを占める高価な器械なしで、転倒予防ができます。



足背にはおもりが付いている

特許取得

【新聞記事】 高齢者の転倒予防へ 重り付きスリッパ開発 2022.10.8 陸奥新報
転ばぬ先の「スリッパ効果あり 重り着け歩行、足上げる筋肉鍛える 2022.10.21 朝日新聞

なぜ転倒予防効果があったのかを実証実験中

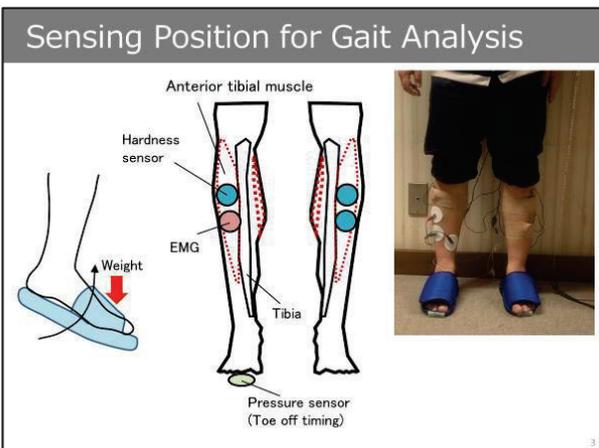
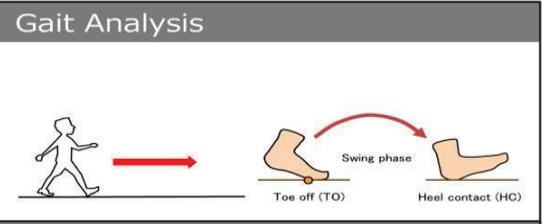
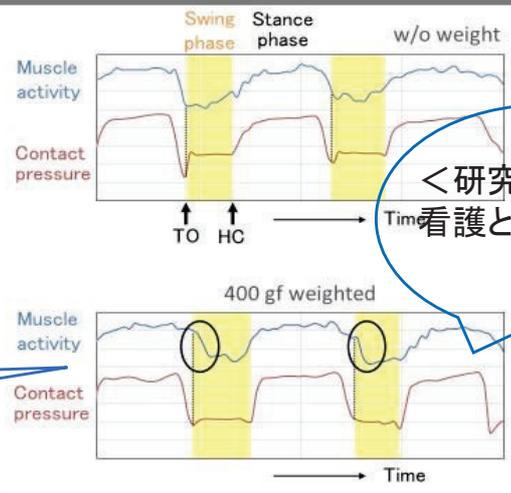


図. センサーによる筋肉運動の様子
弘前大学大学院理工学研究科
藤崎和弘先生提供

実験で歩行を分析



Gait Characteristics Change



＜研究テーマ＞
看護と工学の融合

スリッパをはくと筋肉に(前脛骨筋)長時間力が加わる

Muscle force was required for toe raise in weighted case.

学位・資格

【学位】

- 学士(看護学)
- 修士(看護学)

【資格】

- 看護師
- 保健師

担当科目

【看護学部】

- 基礎演習
- 老年看護学方法論
- 老年看護学援助論
- 老年看護学実習
- 看護統合実習
- 健康づくり実習
- 卒業研究

研究テーマ

科研費(研究代表者・課題番号23K10382)

褥瘡

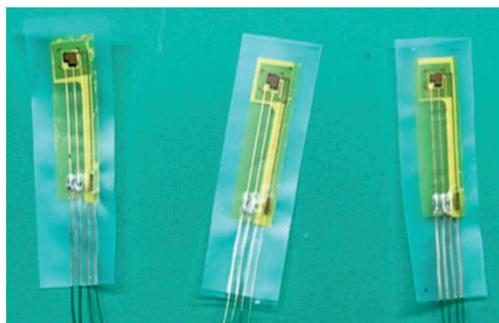
褥瘡(床ずれ)はまだ分かっていない事がたくさんあります。

表面からできるのか、内部からできるのかなど。これまでは褥瘡について組織学的な解明を試みました。

そして、現在は理工学的アプローチで褥瘡発生メカニズムについて研究しています(弘前大学大学院理工学研究科に在籍中)。

メカニズム解明により適切な予防策やケアにつなげる事が可能となります。

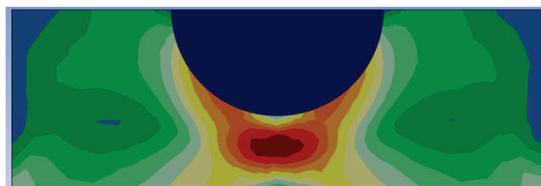
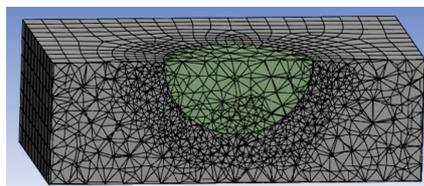
薄型の3軸接触応力センサーを作成し応力を測定



写真は弘前大学大学院理工学研究科の笹川・三浦研究室で開発されたセンサーです。これを最初から自作し、それを用いて実験調査を行います。

コンピューターシミュレーション(有限要素法解析)

生きた人間では調査できない事をこれから調査します。図は、軟部組織と骨組織を模した簡易モデルのシミュレーションです。内部にひずみ集中がみられます。今後は人体モデルで調査していきます。



高校生の皆様へのメッセージ

大学では興味のあることを色々な側面から追及できます。

そして、興味のあることを見つけられる場でもあります。

追及心をもって取り組む事の楽しさを大切にしています。

齊藤 史恵 SAITOU FUMIE (講師) 看護師 修士

【担当科目】 小児看護学 (概論・方法論・援助論・実習) 家族看護学 基礎演習
健康づくり実習 I II 卒業研究

【研究テーマ】 1.小児看護 2.看護学生・教育 3.母親と子どもをとりまく社会問題

～大学で小児看護は、どんな勉強をするの?～



病気の赤ちゃんだけではなく、健康な子ども、思春期の方との関わりを学び、子どもならではの世界に触れながら、小児看護の役割について学習していきます。

「どうして泣いているんだろうか」、困ってしまう状況ですが、学生の皆さんが普段子どもに接したことがなくても、無理のない状態で講義や演習、実習の中で、子どもの特徴を理解していくことを目指しています。

子どもの生活の中心は、遊びです。身体的発達や情緒、社会性といった人格形成の基礎となる**遊び**について考える学習を行っています。

～主な研究内容～

臨地での実践をイメージできるよう、TBL(チーム基盤型学習)によるアクティブ・ラーニングを授業に積極的に取り入れ、グループワークの実践研究を行っています。この研究は、勉強に積極的に取り組み、仲間と協力し合い高めあっていくためには、どのようにしていったらいいのか、自分で自分の勉強を行う責任が高められ、学習効果につながっていることが明らかになっており、将来のチーム医療の人材育成のために必要な研究です。

卒業研究では、親と子どもの生活上の問題を援助者の立場として、調査することが多く、年々変化し続ける社会情勢を理解し、研究していくことが大切だと思っています。



【高校生へのメッセージ】

子どもと楽しく関わるためには、自分も楽しい気持ちで子どもに向き合うことが大切です。子どもと一緒に遊び、子どもの成長を理解し、看護実践していくナースを目指しませんか！一緒に勉強していきましょう。

齊藤史恵、木田優子(2021) : Team-Based Learning における看護学生のピア・フィードバックの認識と課題、弘前学院大学看護紀要 16

齊藤史恵、漆沢舞(2019) : ピア評価がもたらす看護学生の学習の責任性への認識と課題、～学生の語りからの分析～、弘前学院大学看護紀要 14.

大瀬富士子(おおせふじこ OOSE FUJIKO) 教授 修士(学術)

担当科目:母性看護学に関する科目など。母性は、核になることは妊娠・出産・産後・赤ちゃん・ご家族ですが、生命倫理、ジェンダー、多様性、国際的な問題など幅広く、一緒に考えることができたらと思います。

研究テーマ:病院で助産師として働いていた時には、お腹の赤ちゃんに障がいがあると伝えられた方や、出生前診断という医学の発達とともに、悩み・葛藤する方々が多く、その方達を支えたいと思いました。そこで大学院では「胎児に障がいを持つこと ―出生前診断―」というテーマで、哲学・生命倫理に取り組みました。障がいのあるなしにかかわらず、産み育てやすい社会であつたらいいですね。

助産師教育をしていた時は、「産み育てること」と広いテーマですが、子育てをされているお母さん達の育児の困難さ、喜びを伺い、また 80 代の方々から子育ての変遷を伺い、出生率の高い離島の徳之島をフィールドワークとし、島の出産を支えている助産師さんにお世話になりました。

現在は、「より自然な出産のあり方」に取り組んでいます。赤ちゃんがお母さんのお腹で回って生まれることや、胎盤や産声など出産に対する興味は尽きません。

また学生達とは様々なテーマで、卒業研究に取り組むことがとても楽しいです。

社会貢献:2024 年度から流産・死産・新生児死亡を経験された方々の会「ちいさなシオンの会」を助教の対馬明美先生とともに立ち上げているところです。会の名称は教会の牧師先生ご夫妻がつけてくださっています。シオンの花言葉「あなたを忘れない」です。微力ながら支えられたらと思っています。

高校生へのメッセージ:赤ちゃんはとても可愛いです。学生の皆さんも同じくとても可愛いと思って愛情深く大切にさせていただいています。一緒に学ぶことができたらいいですね。



菅原大輔（すがわらだいすけ） sugawara daisuke 准教授 修士(学術)

【担当科目】 精神看護学概論 精神看護方法論 精神看護援助論 精神保健
精神科リハビリテーション論 基礎演習 精神看護学実習 卒業研究など

【研究テーマ】

①精神科臨床における患者－看護師間に生じた対立場面の分析

②精神科デイケアにおける困難性に関する研究

主に精神科臨床で働く職員の困難な場面や現状をまとめて、その状況を解決する方策について研究しています。

【精神領域の日本の現状】

日本の精神疾患を有する人は、約 419 万人とされており、なかでも 24 歳までの人数は、38 万人を超えています(厚生労働省「患者調査」, 2019)。精神疾患がきわめて特殊な病気ではなく、身近な病気と捉えられてきています。

【10 代にも見られる精神疾患の代表例】

統合失調症: 幻覚や妄想(陽性症状)、感情の平板化、自閉、無関心(陰性症状)などの症状を長期間繰り返しおこる病気です。

摂食障害: 全く食事(水分)をとらなくなる、もしくは過食を繰り返すことで、身体的または社会的に影響を及ぼす病気です。

全般性不安障害: 過剰な不安や恐怖が持続する病気です。時にはパニック発作や緘黙(話せなくなる)の症状が現れることがあります。

気分障害: 躁病(気分が異常に高揚し、時に怒りやすくなる)とうつ病(抑うつ気分が持続し活動力や思考力が低下する)を繰り返し、気分の変動が激しくなる病気です。

他にもパニック障害、強迫性障害、適応障害、パーソナリティ障害、嗜癖性障害(依存症)など様々見られます。

このように 10 代の学生でも精神疾患に罹患する人は多くなっている現状があります。しかし、病気とわからないことで差別や偏見につながることもありますので、病気を理解することは、対象者に向き合えることにもつながってきます。

【メッセージ】

精神看護学について学ぶと、病気に対する不安や恐怖が徐々に薄れ、身近にいる大切な人の心の乱れや病気に対して、少しでも関心を持ち接することが出来るようになっていきます。また、自分自身の心の安定にもつながると思っています。

実態が見えにくい難しい領域ですが、授業では少しでも興味を持ってくれるよう、工夫してわかりやすく教えていくつもりです。

日下純子 (くさか じゅんこ) KUSAKA JUNKO

学位:看護学修士・社会福祉学修士

所持資格:保健師、助産師、看護師、養護教諭(専修、一種)
社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員

担当科目:対象別公衆衛生看護活動論、保健医療福祉行政論、地域連携論、
学校保健論、産業保健論、コミュニティ活動展開論、精神保健、
健康教育論、地域包括ケアシステム論、
公衆衛生看護学実習、卒業研究等

主な研究分野:公衆衛生看護の歴史から今日的課題
(保健室登校、養護教諭の歴史的変遷)
人物研究(日本のナイチンゲール瓜生イワ、)

～高校生の皆さんへのメッセージ～

温故知新、物事にはそれぞれ深い歴史があります。

☆公衆衛生看護の歴史

☆日本のナイチンゲールといわれる瓜生イワの業績について、医療、福祉、保健が十分に分化していなかった時代に活躍した女性の様々な活動、救済活動についてご紹介します。

☆学校でお世話になっている保健室の先生である養護教諭の歴史を学校看護婦、養護婦、養護訓導にさかのぼって当時の学校の様子等お話しします。

歴史を踏まえて看護の可能性を広げてみませんか



中尾 八重子(なかお やえこ) Nakao Yaeko

アドミニストレーション博士

専門領域: 公衆衛生看護学(保健師教育)

持っている資格: 看護師、保健師、養護教諭(一種)、社会福祉士

担当科目: 地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護方法論、健康教育論、公衆衛生看護管理論、ヘルスプロモーション論、健康危機管理論、地域看護学実習、公衆衛生看護学実習、卒業研究 等

科目名ではどんな授業かわかりにくいので主な科目の内容を説明します。

↓

・公衆衛生看護学概論

保健師とは、何を目的にし、何を大事に、どのようなことをするのか

・公衆衛生看護方法論

保健師の仕事には、どのような技術が必要で、それはどのようなことか

・健康教育論

保健師が行うことの1つである「健康教育」の目的や具体的な方法とは何か
(学生がグループで健康教育を行います。)

・公衆衛生看護学実習

保健師になるための実習で、県内の保健所(1週間)と市町村(2週間)で実施。現場保健師の指導を得ながら「地域で暮らす人々のより健康的な生活の実現」のための県や市町村の取り組みや保健師の活動を学ぶ。

研究テーマ: ・保健師(活動)の伝承

・災害看護の教授方法

・地域包括ケアシステムの構築

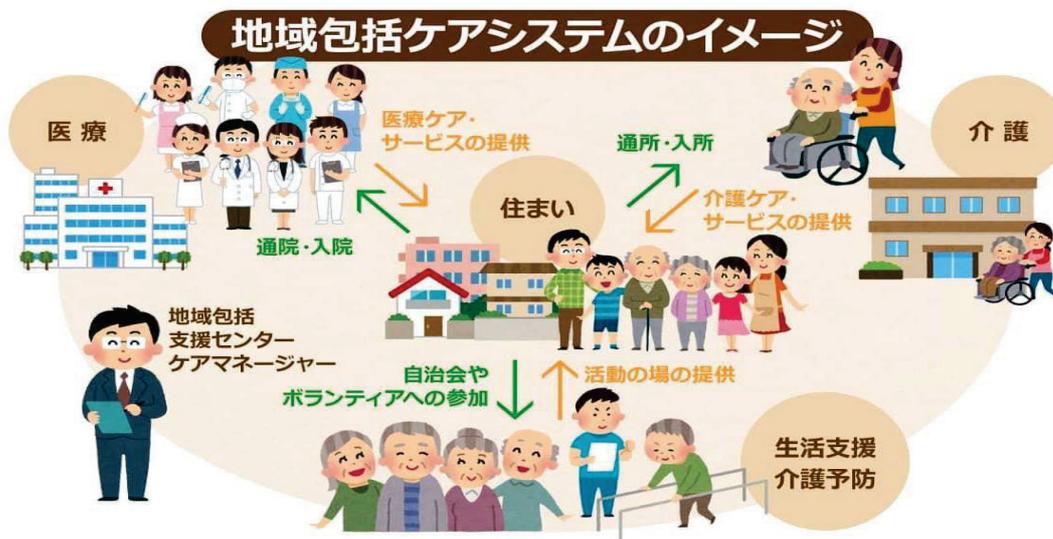
高校生へのメッセージ

公衆衛生看護をする人を保健師といい、看護師と保健師の2つの資格が必要です。本学では両方の資格が得られます。保健師は、お家で暮らしている赤ちゃんからお年寄りまですべの人々を対象とし、「その人がその人らしく健康的な生活を営み、幸せになる」ことを目指して支援します。『健康・生活・幸せ』どれも人それぞれですし、その人の生活や幸せには、家族や環境も影響していますので、支援は幅広く、かつ、その人によって支援の内容や方法が違います。目指すことの達成までには、時間もかかり、保健師の仕事は容易とはいえませんが、とてもやりがいがあります。

【担当科目】在宅療養を支える看護 基礎演習 リスクマネジメント論 看護関係法規
在宅看護実習 看護統合実習 プライマリーヘルスケア実習Ⅱ 卒業研究など

【主な研究テーマ】1 在宅における災害看護 2 在宅看護実習における学生の学び
3 コースポートフォリオを用いた教育実践

諸外国に例を見ない速さで進む日本の高齢社会の中で、高齢者のみならず、障害児・者を含む地域のすべての人々が、病気や障害があっても、よりその人らしく、住み慣れた地域で暮らし続けられるような**地域包括ケアシステム**と、その一翼を担う看護師の役割を学びます。



在宅看護実習は、病院などの医療連携室や、訪問看護ステーション、療養通所介護事業所、地域包括支援センター等で「地域システム全体」を見渡しケアできる看護師を目指しています。

★例えば、訪問看護ステーションでの看護師の役割とは？そこでの防災対策は？



プライマリーヘルスケア実習Ⅱは、病や障害をもちながら地域で生活している人々に提供されている自助・公助・共助の理解と看護師が担う支援について、療育福祉センターや放課後ディサービス、看護多機能型居宅介護などで学んでいきます。

高橋 義孝 TAKAHASHI YOSHITAKA (助教) 看護学修士・看護師

【担当科目】 精神看護学実習

皆さんとは、精神看護学実習でお会いします。

統合失調症、うつ病、アルツハイマー型認知症、双極性障害、パーソナリティ障害など

様々な精神疾患の方がいらっしゃいます。

精神を、心を病むってどういうことなのでしょう？

コミュニケーションを重視して、関わり方や話し方など一緒に関わり、
精神疾患とはどんな障がいか理解していきましょう！

そして、いろんな疑問を解消していきましょう！

村岡 祐介 MURAOKA YUSUKE (助教) 看護学修士・看護師 保健師

【担当科目】 成人看護学Ⅲ・Ⅳ 成人看護学実習Ⅱ

【主な研究テーマ】 手術体位による圧力と神経への影響の検討

手術中には様々な姿勢を取ることがあり、体は手術台や器具で支えています、手術の後に、神経障害を起こしてしまうことが時々あります。



左の写真のように、頭が下がった姿勢で、足を上げた姿勢になるものもあります。

そうすると、器具が当たっている赤丸の部分や、体には自分の体重などによっても圧力が発生します。

その際に、神経は一体どの程度の圧迫で神経障害を起こしてしまうのか、実際に圧力はどの程度なのか、を研究しています。

また、体の中は目に見えません。

そのため、エコーという機械を使って、体の神経がどのように変化するのも観察しています。



課題番号：22K10907 (科研費)

對馬 明美 TSUSHIMA AKEMI (助教) 看護師

【担当科目】在宅看護実習 看護統合実習

例えば

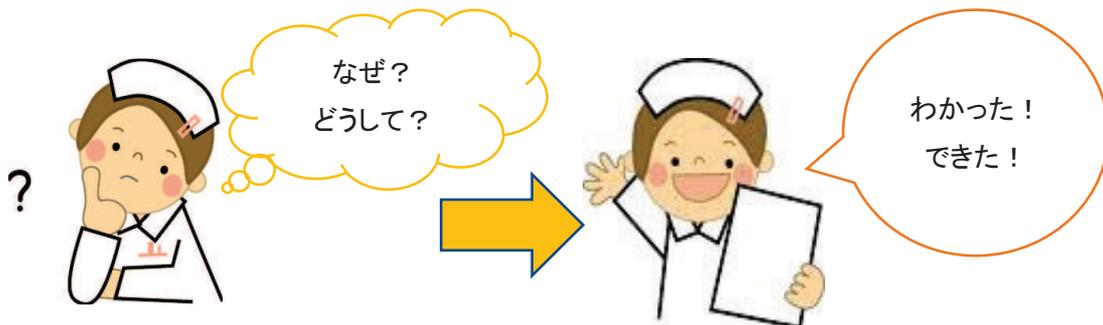
痛みで苦しんでいる時
手術前で不安な時
自分ひとりでは動けない時
病気になってショックな時
苦しんでる家族に対してどうしていいかわからない時
そして
人生を終える時



必ずそばにいる職業は看護師です。

【高校生へのメッセージ】 自分という人間を看護師として活かしてみませんか？

木田 優子 KIDA YUKO (助教) 看護師 修士(学術)
担当科目: 小児看護方法論・援助論、小児看護学実習、看護統合実習
研究テーマ: 医療的ケア児と家族への支援



学生さんは、日々の実習の中で、「対象の方に必要なことで、自分ができることはないかな?」と考えています。教員として、学生の言葉を傾聴し、共に対象の方に必要なできることを一緒に考えることで、自分も学ばさせていただいています。一緒に、対象の方に合った看護援助を考えていきましょう!

村上 翔太郎
MURAKAMI SHOTARO
(助手) 保健師・看護師

看護って何？

人を支えるって
どういうこと？



【担当科目】

基礎看護学実習 I・II
看護統合実習 など

健康って何？

日々の生活と看護をつなげ
一緒に答えを見つけていきましょう

Hirosaki Gakuin University



弘前学院大学 看護学部看護学科

〒036-8231 弘前市稔町20-7